

若年性認知症コーディネーターの 役割と実践を考える



平成 28 年に開始された若年性認知症コーディネーターの配置は、今年度中に各都道府県で全配置される方向です。若年認知症の人たちへの地域支援が一步進んだといえます。一方で、若年性認知症コーディネーターを配置して終わりではなく、これからが始まりです。

若年性認知症コーディネーターが看板倒れにならないために本研修では、若年性認知症コーディネーターとして活躍している講師を招き、役割と実践を学習します。そして若年認知症の介護家族の体験談を踏まえつつ、演習を通して、その役割と実践方法を深める機会を提供いたします。

第 1 部

講義

若年性認知症コーディネーターの役割と実践

講師 (有) イトファーマシー 伊藤 美知 氏

10:00～11:45
(質疑応答)

第 2 部

体験談

若年認知症の理解

～介護家族の体験談を通して

演習

模擬事例を用いたグループワーク

司会進行 当法人理事／首都大学東京健康福祉学部看護学科教授

勝野 とわ子

13:00～13:50

14:00～16:00

2017 年 9 月 5 日(火) 10:00～16:00(受付 9:30)

神戸市産業振興センター 9 階会議室 901

(神戸市中央区東川崎町 1 丁目 8 番 4 号[神戸ハーバーランド内])

参加費 6,000 円(事前振込)

定員 100 名先着

定員になり次第、締め切らせていただきます

※日本認知症ケア学会 認知症ケア専門士 単位 3単位

申込方法:裏面の必要事項記入欄をご記入のうえ、FAXにてお送りください

《お問い合わせ》 若年認知症サポートセンター事務局
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-9-4 御苑グリーンハイツ 605
電話: 03 (5919) 4186 / FAX: 03 (6380) 5100
Mail: info@jn-support.com

この研修は公益財団法人日本福祉弘済会の助成を受けています